



交通の不便な地域で暮らす住民の、日常的な買い物などを支援する送迎サービス「おでかけサポート」が27日、小田原市片浦地区で始まった。片浦まちづくり委員会(委員長、廣石計典片浦地区連合自治会長)が、県市、地元の福祉事業所(宝安寺社会事業部ほうあんしおんなど)と連携した県西初の取り組み。小田原百貨店(神戸洋一社長、本社小田原市栄町)が協力。

この日は同地区在住の高齢者9人が、2台の送迎用ワゴン車に分乗して送迎を受けた。第1号の送迎車は、米神と根府川に住む74歳から86歳までの女性を乗せ、午前9時半ごろに同地区をスタート。同10時に小田原百貨店板橋店(日井浩之店長)へ到着して約30分の買い物を終え帰宅した。

利用者は、「買い物したい時間にちょうどいいバスがなかったので、とても助かった。次の利用が楽しみ」と満足げに語った。同委員会は、自治会や市、地元の市議、民生委員、福祉、文化など各種団体により、約5年前に立ち上げられ、同地区的活性化に取り組んできた。

その中で同サポートを発案。県の共生社会推進事業、外出支援モデル事業(県内5市が対象)として今年度約65万円の負担金を受け、試験的に実現した。

県西初、おでかけサポート 小田原百貨店が協力

神静民報

発行所
小田原市栄町3-21-2
株式会社神静民報社
営業所
小田原市久野4502
0465-35-1888
FAX 0465-30-1888
無断転写禁止
定価1ヶ月2000円
定価1部 90円
sinsei-n@chive.ocn.ne.jp

実施期間は当面、3

住者。事前登録が必要

で、現在は26人が登録

中。運転手も地域で募

集したところ、3人が登録。

3月には6人に増える予定とい

う。

片浦地区は、約6

0世帯の約1500人

が暮らすが、高齢化率

は44%と高い。高齢者

り手に入るよう、「事

前に利用者の希望が聞

かれば商品の取り置き

なども対応したい」と

している。

利用者は、送迎運賃

の代わりに、ガソリン

代の実費を負担するし

くみ。運転手は地域住

民(福祉有償運送運輸

者講習受講者)がボラ

ンティアとして無償で

務める。

今回のサポートは、

そうした厳しい現状を

地域住民同士の助け合

いで打破しようという

試み。今年度3月まで

神 静 民 報

発行所

小田原市栄町3-21-2
株式会社神静民報社

営業所

小田原市久野4502
0465-35-1888
FAX 0465-30-1888
無断転写禁止
定価1ヶ月2000円
定価1部 90円
sinssei-n@chive.ocn.ne.jp

県西初、おでかけサポート

片浦地区でスタート 小田原百貨店が協力

交通の不便な地域で暮らす住民の、日常的な買い物などを支援する送迎サービス「おでかけサポート」が27日、小田原市片浦地区で始まった。片浦まちづくり委員会(委員長、廣石計典片浦地区連合自治会長)が、県市、地元の福祉事業所(宝安寺社会事業部ほうあんしおんなど)と連携した県西初の取り組み。小田原百貨店(神戸洋一社長、本社小田原市栄町)が協力。



買い物した荷物を積み込む利用者と、まちづくり委員会メンバーなど

この日は同地区在住の高齢者9人が、2台の送迎用ワゴン車に分乗して送迎を受けた。第1号の送迎車は、米神と根府川に住む74歳から86歳までの女性を乗せ、午前9時半ごろに同地区をスタート。

この日は同地区在住の高齢者9人が、2台の送迎用ワゴン車に分乗して送迎を受けた。第1号の送迎車は、米神と根府川に住む74歳から86歳までの女性を乗せ、午前9時半ごろに同地区をスタート。

利用者は、「買い物したい時間にちょうどいいバスがなかったので、とても助かった。次の利用が楽しみ」と満足げに語った。

同委員会は、自治会や市、地元の市議、民生委員、福祉、文化など各種団体により、約5年前に立ち上げられ、同地区的活性化に取り組んできた。

その中で同サポートを発案。県の共生社会推進事業の、外出支援モデル事業(県内5市が対象)として今年度約65万円の負担金を受け、試験的に実現した。

実施期間は当面、3月まで、毎週月曜日(祝祭日を除く)の午前9時半と11時半の2回、利用者の自宅付近から

小田原百貨店板橋店まで送迎車を運行する。

同店では、週に1度

の機会に、サービス利

用者の希望品がしっかりと手に入るよう、「事

前に利用者の希望が聞

かれば商品の取り置き

なども対応したい」と

している。

利用者は、送迎運賃の代わりに、ガソリン代の実費を負担するし

くみ。運転手は地域住

民(福祉有償運送運輸者講習受講者)がボラ

ンティアとして無償で務める。

利用資格は同地区在

住者。事前登録が必

要で、現在は26人が登

録中。運転手も地域で募

集したところ、3人が登

録。3月には6人に増

える予定といふ。

片浦地区は、約660世帯の約1500人が暮らすが、高齢化率は44%と高い。高齢者単身世帯が多く、高齢のため自家用車の運転を断念する人も急増。しかし路線バスは朝夕の通勤・通学時間帯に集中して運行され、高齢者が買い物や通院をしたい昼間の時間帯には少ない。今回のサポートは、そうした厳しい現状を地域住民同士の助け合いで打破しようという試み。今年度3月まで